

文教厚生 常任委員会

町内保育環境の 見直しが必要

町内保育施設の現況 を視察

7月24日、町の保育サービスと町内保育施設の現況について担当課（子育て支援課）の説明を受けた後、寄居保育所、子育て支援センター、いずみ保育園を視察しました。その後、直ちに協議に入り、各委員から質疑、意見を聞きまし。公立保育所と民間保育所の入所率の違い

- ・一時保育事業の利用状況
- ・学童保育施設の運営状況
- ・比較的新しい施設を視察したが保育環境の改善を要する箇所が見受けられる。老朽化した保育施設も



子どもたちと一緒に給食も（寄居保育所）

保育サービスの充実・環境整備について調査研究しています



含め、町内の保育施設全般を視察する必要がある。数値上の待機児童はいないが、隠れ待機児童と言われる子ども達の現況について調査したい。

出生率が15年間で3分の2に減少している危機的状況を深刻に捉えるべき等の意見があり、協議の結果、今後も現状把握のため町内各保育所を視察することとし、引き続き調査研究することを決定しました。

今後の予定
現状把握のため、
町内保育所を視察

総務経済 常任委員会

農用地区域からの 除外が課題

（仮称）上里スマートIC 周辺視察状況

（仮称）上里スマートICは上里サービスエリアと接続しており、関越自動車道の練馬ICから75・5キロメートル地点に位置しています。平成24年4月の連結許可後、平成26年9月工事に着手。平成27年12月に供用開始される予定です。

上里町ではサービスエリア周辺地区整備事業として、上り側には農村公園、下り側には産業団地を整備。全体として17・5ヘクタールの土地を利用し、開発を進めています。また、上里町では独自の「上里町企業誘致条例」という補助



（仮称）上里スマートICの工事状況を視察

寄居PAスマートIC
周辺開発について
調査研究しています



※ 真下委員長の逝去により、
峯岸克明議員が委員長になりました。

学ぶ

議会がグッと近くなる 議会だより

7月28日、議会だより編集委員が新潟県燕市議会を視察しました。燕市の議会だよりは、「ノートブック」という名称のとおりノートをイメージさせるデザイン。表紙は季節感のあるイラスト、キャッチコピーは「議会がグッと近くなる」です。



燕市議会 議場にて
議会報等特別委員会の皆さんと



編集にあたる議会報等特別委員の皆さんからは、議会だよりを市民に読んでいただき、議会をもっと知っていただきたいという熱い思いが伝わり、刺激ある研修となりました。



つばめ市議会ノートブック

長崎県長与町議会、福島県川俣町議会からも編集委員が来町。議会だより編集について意見交換をしました。



長与町議会（7月30日）



川俣町議会（8月18日）

総務経済 常任委員会

農用地区域からの 除外が課題

（仮称）上里スマートIC 周辺視察状況

（仮称）上里スマートICは上里サービスエリアと接続しており、関越自動車道の練馬ICから75・5キロメートル地点に位置しています。平成24年4月の連結許可後、平成26年9月工事に着手。平成27年12月に供用開始される予定です。

上里町ではサービスエリア周辺地区整備事業として、上り側には農村公園、下り側には産業団地を整備。全体として17・5ヘクタールの土地を利用し、開発を進めています。また、上里町では独自の「上里町企業誘致条例」という補助



（仮称）上里スマートICの工事状況を視察

寄居PAスマートIC
周辺開発について
調査研究しています



※ 真下委員長の逝去により、
峯岸克明議員が委員長になりました。

寄居PAスマートIC周 辺開発の課題

上里町視察後、寄居町役場にて担当課長より、寄居PAスマートIC周辺開発の現状及び課題について説明を受け、委員から質疑・意見を聞きました。

「スマートIC周辺農地を農用地区域から除外するための手法としては①農工法実施計画の変更、②農振法施行規則に基づく27号計画の2つがある」「スマートIC周辺の地

権者の意向調査を早急に実施すべき」等の質疑・意見があり、本委員会は、今後も類似した状況で事業に取り組んでいる先進地を視察することとし、引き続き調査研究することを決定しました。

今後の予定
類似した状況の
スマートICを視察

訃報 真下 昇議員 逝去



寄居町議会議員・真下 昇氏（議員歴5年・60歳）が、去る8月17日に逝去されました。葬儀は8月22日、真下家と町議会による合同葬として、多くの皆様が参列する中、しめやかに執り行われました。

故真下 昇氏は、平成23年5月に町議会議員に初当選され、その後、総務経済常任委員会正副委員長、寄居町企画審議会委員、環境審議会委員、荒川上流改修促進期成同盟会理事などの要職に就かれ、地方自治の進展と寄居町の発展のために尽力されました。60年の生涯を閉じられた故真下 昇氏の生前のご功績をたたえらるるとともに、心からご冥福をお祈りいたします。